

大学教育学会に出席して

— 総合テーマ 「持続可能な社会と大学」 —

都市教養学部 理工学系・教授
伊與田 正彦

今年、6月9日～10日の二日間、東京農工大学で大学教育学会が開催された。本学からは、上野淳 基礎教育センター長、舛本直文 FD委員長代理、教務課長、その他FD委員会関係者が多数出席すると共に、自由研究課題の部門で3件の発表を行った。本報告ではその概略について紹介する。

大学教育学会は、学問的視点に立って「大学教育」に対する研究活動を展開している学会である。今回の学会では、「持続可能な社会と大学」を総合テーマとして、初日に東京農工大学の 小畑秀文 学長の挨拶と講演、および 吉川弘之 産業技術総合研究所理事長による「持続性科学の使命」と題した基調講演が行われ、さらにシンポジウム「持続可能な社会と教養教育」が開催された。また、これらに加えて次の7件のラウンドテーブル企画も行われた。

- (1) FDのダイナミックス
- (2) 今、教養教育として英語をどう考えるか
- (3) FDを担当する人・組織に求められるもの
- (4) 大学体育の現状と課題
- (5) 一般教育の歴史的総括を試みる
- (6) 大学院教育と大学教員養成
- (7) SDの新たな地平

二日目にはシンポジウム「教育と研究を考える」および次の9課題に関する自由研究発表が行われた。

- (1) 初年次教育
- (2) 成績評価・授業評価
- (3) アドミッション・地域連携
- (4) 大学職員・学生支援
- (5) FD・教員評価
- (6) 学士課程教育・教養教育
- (7) 自然科学基礎・サイエンス・リテラシー・教育工学
- (8) コミュニケーション
- (9) キャリア教育・歴史

ラウンドテーブル企画課題と自由研究課題は、本学のFD活動で目下問題になっているものであり、そこで発表された内容はいずれも興味深いものであった。自由研究課題に関しては、本学から(4)の「大学職員・学生支援」、(5)の「FD・教員評価」、および(6)の「学士課程教育・教養教育」に関して以下の研究発表が行わ

れた。

- (4) 見館、永井、上野「教員の教育相談が学習意欲など大学生活に与える影響について」
- (5) 串本「自己評価から教育改善へ」
- (6) 舛本、串本、上野「教養教育に対する学生意識の経年変化—首都大学東京の全学共通科目の2カ年を事例として—」



串本先生の「FD・教員評価」に関する講演

今回の大学教育学会の総合テーマである「持続可能な社会と教養教育」とは「これまでの大学教育が独立性の高い閉じた専門領域でのもの」という認識のもとに、「将来に向けて、大学の各専門領域がそれぞれの役割と相互の関係を見直し、適切な発展をすると共に、幅広い総合的な視野を獲得するための教養教育を行う」ことを目的をしていた。難しい課題であるが、時代の精神に答える新しい教養教育が必要であるという認識は重要である。

今回の大学教育学会は、昨年度の東海大学での会合に比べると、大学からの支援の大小を反映してか参加者が少なかった。しかし、熱心な講演・討論等が行われていたので、その一部を紹介する。

本学における自己点検・評価項目で問題となっている「成績評価・授業評価」に関する研究発表の会場では、成績評価の難易度と形成的評価に関する取り組みが大阪市立大学教育研究センターから発表された。成績評価に関しては、微妙な問題を含んでいるが、大学としての取



舛本先生の「学士課程教育・教養教育」に関する講演

り組みは評価できる。また、授業評価に関しては、早稲田大学の人間科学学術院准教授から自由記述のみによる授業評価の取り組みが紹介された。方法論としては難しいが、上手く機能すれば面白い取り組み方である。

今回のラウンドテーブルの企画には、大学院教育が取り上げられていた。今年度から、大学院FDが義務付けられたのでその内容に注目したが、ラウンドテーブルで取り上げられたのは「大学院生が研究者として大学に就職し、大学教育に従事する」ことを前提に、大学職員として求められる知識・技能を教授するためのものであった。大学院教育における大学教員養成機能の拡充は重要であるが、本学の大学院が幅広く研究者の養成と高度職業人の育成を行っていることを考えると、大学院FD活動としてはより幅広い方向性を持たせることが必要であろう。

表1 入口ー出口比較
身に付いた能力(5段階評価の平均値)

	基礎 ゼミ	実践 英語	情報 リテ	都市 プロ
入口 (2005前期 1年生)	3.41	2.97	3.63	2.82
出口 (2006後期 2年生)	2.68	3.10	3.15	3.04
差	-0.73	0.13	-0.48	0.22

注:「ゼミ入口」と「情報入口」は関連する2問の平均値を利用。
平均値の差はいずれも $p < 0.05$ で有意。

2007.06.10 2007大学教育学会 5

本学の特徴ある教養科目の紹介